

1. 科目名 (単位数)	図画工作科指導法 (2単位)	3. 科目番号	SJMP2395 EDEL2314
2. 授業担当教員	中川 画太		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	図画工作 I の単位を習得した後に履修することが望ましい。		
7. 講義概要	図画工作科教育の目標、育成を目指す資質・能力、「造形的な見方・考え方」を働かせる学習内容及び学びの方法についての概説や具体的な事例を通して、学校教育（公教育）で美術教育がおこなわれる教育的意義について理解を深めていく。併せて、授業分析や授業デザインの演習、模擬授業を通して、授業の組み立て方や評価規準設定の視点、指導案の書き方、指導方法について習得を目指す。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 図画工作科の目標及び育成すべき資質・能力や学習内容を理解し、その特質と教育的意義を説明できる。</li> <li>2. 造形表現の発達段階及び学習者の多様性について理解し、子どもの実態に合わせた指導について考えることができる。</li> <li>3. 図画工作科における主体的・対話的で深い学び場づくりについて理解し授業設計することができる。</li> <li>4. 学習指導案作成上の留意点を理解し、自ら選択した題材について学習指導案を作成することができる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 図画工作科の学習指導案の作成。</li> <li>2. 講義内容に沿ったレポートの提出。</li> <li>3. 講義内容への理解度を高めるための小テスト。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 『図画工作科指導法研究』 日本文教出版。 文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作編』 文部科学省。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 図画工作科の目標及び育成すべき資質・能力や学習内容を理解し、その特質と教育的意義を説明できるか。</li> <li>2. 造形表現の発達段階及び学習者の多様性について理解し、子どもの実態に合わせた指導について考えることができるか。</li> <li>3. 図画工作科における主体的・対話的で深い学び場づくりについて理解し授業設計することができるか。</li> <li>4. 学習指導案作成上の留意点を理解し、自ら選択した題材について学習指導案を作成することができるか。</li> </ol> ○評定の方法 授業内の課題…30% ポートフォリオ…40% 最終課題…30%		
12. 受講生へのメッセージ	造形活動は、子どもたちの成長に重要な意味、意義があります。モチベーションを高く保ち受講する事で、そのことをしっかりと実感して欲しいです。優れた指導者になる近道はありません。Aを習いそれをすぐに実践する、と言う単純なノウハウを得るのではなく、豊かな体験の中で自ら考え工夫することから、自分なりのBと言う実践を行えるようになる、そのための時間です。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 良好な体調で、積極的に臨み、集中する。</li> <li>2. 教科書や、指示された用具・素材を、必ず用意する。</li> <li>3. 制作した作品やレポート、最終課題の指導案、配布物は、今後の貴重な資料となるものであり、必ず大切にファイリングする。</li> </ol> 以上3点、厳守の上で、貴重な体験を積んでいきましょう。 教室の中だけでなく、日常生活での物との出会い、様々な出来事への興味関心も重要です。積極的な取り組みの先には、新たな自分との出会いがあるはずです。		
13. オフィスアワー	授業前後の休憩時間。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (シラバスの説明：授業内容、目的、評価など) 図画工作科指導要領の構造と「目標」について 【注意事項】教科書は必ず購入すること 実習：デッサン基礎	事前学習	学習指導要領解説 p.146～p.148 を読む。
		事後学習	学習したことをポートフォリオにまとめる。
第2回	造形活動の意義について 図画工作（芸術的造形表現活動）が如何に大切か 造形活動と造形遊びについて グループディスカッション：「学校とはどんな場か」	事前学習	教科書 p.7～p.18 を読む。
		事後学習	ディスカッションシートに自分の考えを記入する。
第3回	幼児から児童生徒の発達段階特有の描画表現について グループディスカッション：「子どもの描く空、大人の空について」	事前学習	学習指導要領解説 p.146～p.148 を読む。
		事後学習	ディスカッションシートに自分の考えを記入する。
第4回	表現活動と鑑賞の関わりについて 初等教育における「美術」と本来の「芸術」との関係を知る グループディスカッション：「近代から現代のアート作品について」	事前学習	教科書 p.21～22 を読む。
		事後学習	ディスカッションシートに自分の考えを記入する。
第5回	図画工作科の授業の構造について 授業前準備と授業 グループディスカッション：「時間について」	事前学習	教科書 p.55～57 を読む。
		事後学習	ディスカッションシートに自分の考えを記入する。

第6回	評価について 授業の目標と評価、評価の観点、個人内評価、評価のタイミング グループディスカッション：「見ると読むについて」脳の視覚からの認識の仕方について体験から考察し、より多面的な視点をもって評価の観点と向き合うための方法を考える	事前学習	教科書 p. 130～137 を読む。
		事後学習	ディスカッションシートに自分の考えを記入する。
第7回	材料・用具の扱い方 用具の扱い方解説。図画工作科で使用する材料の可能性について。児童生徒の安全について。 グループディスカッション：「図画工作科の授業で扱う材料は誰が用意するか」	事前学習	教科書 p. 138～149 を読む。
		事後学習	ディスカッションシートに自分の考えを記入する。
第8回	教材研究および指導計画の立て方について 小学校における指導計画の全体像から、図画工作科の1つの授業への繋がりを知る グループディスカッション：「共同制作について」	事前学習	教科書 p. 58～64 を読む。学習指導要領解説 p. 104～125 を読み、p148 を熟読する。
		事後学習	ディスカッションシートに自分の考えを記入する。
第9回	図画工作科指導案（最終課題）の作成の仕方 図画工作科と他の科目の違いを理解する グループディスカッション：「教科担任制について」	事前学習	教科書 p. 66～129 を読む。
		事後学習	ディスカッションシートに自分の考えを記入する。
第10回	学年による内容の違い：低学年 グループディスカッション：「小一プロブレムについて」	事前学習	学習指導要領解説 p. 35～57 を読む。
		事後学習	ディスカッションシートに自分の考えを記入する。
第11回	学年による内容の違い：中学年 グループディスカッション：「大人と子どもの適切な距離感について」	事前学習	学習指導要領解説 p. 58～80 を読む。
		事後学習	ディスカッションシートに自分の考えを記入する。
第12回	美術教育史／色彩の基礎	事前学習	教科書 p. 29～42、150～153、164、165、を読む。
		事後学習	授業内容をポートフォリオにまとめる。
第13回	指導案（最終課題）提出 図画工作科と他教科との関連について グループディスカッション：「褒める（誉める）とは」	事前学習	指導案（最終課題）作成の終了
		事後学習	授業内容をポートフォリオにまとめる。
第14回	提出された指導案（最終課題）の相互添削、評価【グループワーク】	事前学習	これまでの講義内容を振り返る
		事後学習	他者の指導案（最終課題）を読んだの気づきをポートフォリオにまとめる。
第15回	学年による内容の違い：高学年 グループディスカッション：「絵本の読み聞かせの効用について」	事前学習	学習指導要領解説 p. 81～103 を読む。
		事後学習	ディスカッションシートに自分の考えを記入する。